

*Opening remarks for the 28th annual meeting
of the Japanese Society of Inflammation and Regeneration*
Hideyuki Okano*

第28回大会 日本炎症・再生医学会開催に当たって

岡野 栄之*

2007年の日本炎症・再生医学会・第28回大会の大会長を務めさせていただきます岡野栄之でございます。室田誠逸先生が大会長をされた第22回大会が炎症に再生の領域を加えた「日本炎症・再生医学会」としての最初の大会で、今回で7回目を迎えます。大会も回を重ねるごとに、ケモカインと幹細胞のホーミング・動員、炎症性サイトカイン、単球由来細胞の多様な機能、幹細胞の同種移植に伴う免疫学的拒絶反応の制御など、炎症と再生の接点が明瞭となり、学会員同士の新たな共同研究も進んできているように思えます。

今後は、炎症研究と再生医学研究の融合を謳うことにとどまらず、「自己免疫疾患で障害された臓器の再生をどう攻略するか?」といったジレンマに挑戦し、これまで難しかった治療の開発を目指した次世代の炎症・再生医学を切り開いていくことが重要と考えます。このことを祈念しまして今回のテーマを立てさせていただきました。第28回大会を皆様と一緒に「次世代の炎症・再生医学」を考えていく場にしたいと切に願っておりますので、皆様方には何卒、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

開催概要

会期：2007年8月2日（木）・3日（金）
会場：京王プラザホテル
会長：岡野 栄之（慶應義塾大学医学部生理学教室教授）

招待講演者

会長講演

岡野 栄之（慶應義塾大学医学部）

特別講演

竹市 雅俊（理化学研究所）
岸本 忠三（大阪大学大学院生命機能研究科）
成宮 周（京都大学大学院医学研究科）

* Department of Physiology, Keio University School of Medicine 慶應義塾大学医学部生理学教室 教授

教育講演

- 山中 伸弥（京都大学再生医科学研究所）
中辻 憲夫（京都大学再生医科学研究所）
須田 年生（慶應義塾大学医学部）
浅島 誠（産業技術総合研究所）
田畑 泰彦（京都大学再生医科学研究所）
出澤 真理（京都大学大学院医学研究科）
末松 誠（慶應義塾大学医学部）
児玉 龍彦（東京大学先端科学技術研究センター）
高柳 広（東京医科歯科大学医歯学総合研究科）
清水 孝雄（東京大学大学院医学系研究科）
吉村 昭彦（九州大学生体防御医学研究所）
河上 裕（慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所）

シンポジウム

- 1 生物学的製剤を炎症の制御
- 2 NF- κ B 研究の現状と将来展望
- 3 慢性炎症とケモカイン
- 4 幹細胞研究の基礎と応用
- 5 神経堤細胞：成体幹細胞源としての可能性
- 6 炎症・再生における ECM の役割

ワークショップ

- 1 骨髄間質細胞
- 2 臨床応用を先導する歯科の再生医療
- 3 再生医療の実用化・産業化への課題
- 4 生物学的製剤の新展開
- 5 骨免疫学の最前線－病態理解と組織再生を目指して
- 6 サイトカインシグナル
- 7 分子標的創薬と Translational 研究
- 8 Epigenetic Control of Stem Cells
- 9 抗炎症・抗アレルギー薬開発のための新しいターゲット
- 10 心血管再生医療の最前線
- 11 プロスタグランジンとアラキドン酸
- 12 新規分子を標的とした炎症制御
- 13 炎症反応を制御する血管新生の分子機構